

平成 29 年 10 月 31 日

各 位

株式会社全銀電子債権ネットワーク

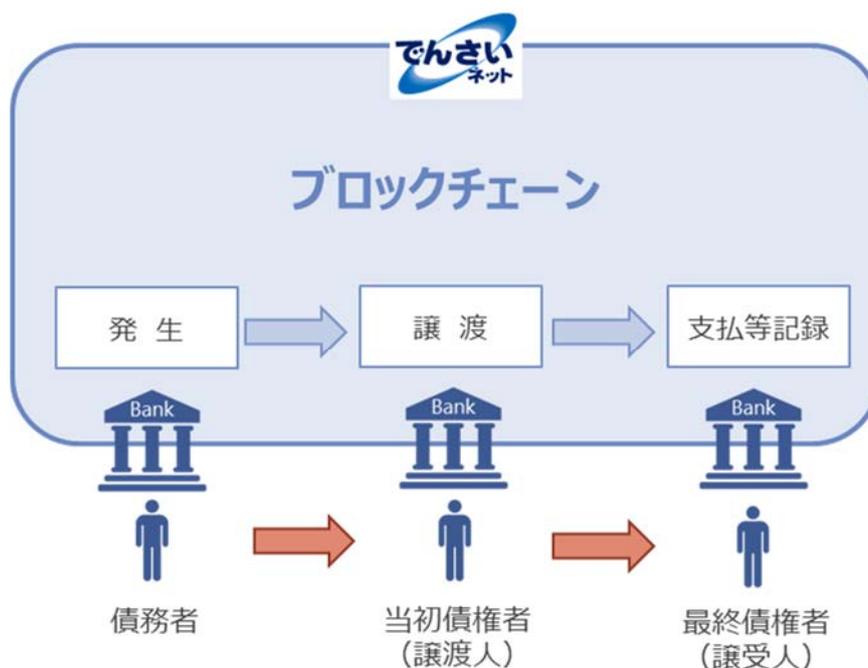
## でんさいネットシステムにおけるブロックチェーン技術の 利用可能性に係る実証実験の実施について

当社は、この度、株式会社エヌ・ティ・ティ・データと共同で、でんさいネットシステム（※1）におけるブロックチェーン技術（※2）の利用可能性に係る実証実験を実施します。

具体的には、ブロックチェーン技術を用いて、当社が提供する「でんさい」のサービスの土台となる機能（「でんさい」の発生や譲渡等）を備えた試作アプリケーションを一般社団法人全国銀行協会の「ブロックチェーン連携プラットフォーム」（※3）上に構築し、「でんさい」の基本的な取引を再現することで、技術的な評価・検証や課題の抽出を行います。

当社は、この実証実験を通じ、ブロックチェーン技術の利用可能性を検証し、でんさいネットシステムの抜本的効率化を目指した取組みを進めて参ります。

（この実証実験で行う取引のイメージ）



- (※1) 当社が取り扱う電子記録債権(でんさい)の発生・譲渡等を記録原簿に記録するためのシステム。
- (※2) 一般に、「取引履歴を暗号技術によって過去から1本の鎖のようにつなげ、ある取引について改竄を行うためには、それより新しい取引についてすべて改竄していく必要がある仕組みとすることで、正確な取引履歴を維持しようとする技術」とされる技術。
- (※3) 一般社団法人全国銀行協会が整備する、FinTechベンチャーやIT事業者、他の銀行等と銀行が連携・協働し、ブロックチェーン技術/分散型台帳技術(DLT:Distributed Ledger Technology)を活用した新たな金融サービス等を開発するための試行・実証実験の容易化や、銀行業界全体でのブロックチェーン技術/DLTに関する知見の共有・蓄積等を目的とした、連携・協働型の実証実験環境。

以 上